

No. 1456

首脳外交の今後

— A S E A N —

中曽根首相は首相就任以来、日韓・日米の首脳会談をはじめ、我が国と関係の深いASEAN諸国を歴訪し、精力的に首脳外交を展開してきました。こうした中で、中曽根首相はアジアの一員として日本はこれからもASEAN重視の外交を展開していくことを約束。

一方ASEAN諸国では、世界的不況で苦しんでいるだけに、我が国の経済協力を歓迎、また経済面だけでなく科学技術や青少年の交流など一層の発展を望みました。さらに、ウィリアムズバーグ・サミットに出席する中曽根首相に対し、「世界経済活性化に先進諸国の力強い協力」が要請されました。急テンポで世界情勢が変化するようになり、首脳外交というスタイルが多くなるだけにその成果が期待されます。

ぼくの歌きいてよ

愛知県名古屋市。昭和52年春、障害児にも職を持たせようと、四畳半の小さな作業所が作られた。

熱田作業所である。障害児ははじめ3人。しかし、仲間はいつしか次第に増え、地元の青年たちもボランティアとして励ましてきたが、無認可のため運営は苦しかった。30人を越した仲間たちは、せっけんを作り、金具作りに励んで資金をためた。長い苦しい闘いが続いたが、ようやく念願がかない、今年の春、社会福祉法人「つゆはし作業所」が完成した。

障害者と支援グループ250人は自立の喜びと、感謝の気持ちをこめて、コンサートをひらいた。ぼくの歌きいてよ、仲間たちは肩を組んでいつまでも歌いつづけた。